

2021年度休眠預金事業通常枠 実行団体の採択について

認定NPO法人全国子ども食堂支援センター・むすびえ

【選考過程】

2021年12月13日	公募要領公開(むすびえホームページ) ※オンラインによる説明会・勉強会・個別相談会を複数回実施
2022年1月16日	公募締切
1月28日	1次審査(書類審査)
2月20日	2次審査(オンラインプレゼンテーション)
2月23日～3月11日	2次審査(参加団体訪問ヒヤリング)
3月19日	3次審査(討議) ※第三者の外部専門家等から構成される審査会議において審査を実施

【採択団体】

団体名	一般社団法人さが・子ども未来応援プロジェクト実行委員会
事業名	子ども食堂をハブとした地域の資源循環デュアルモード構築事業
事業概要	<p>当団体が、2017年より開始した県内の子ども食堂・居場所支援の結果、当初5箇所程度であった拠点が、定期開催・不定期開催あわせ県内100箇所程度になり、参加者ものべ5000人程度と、ひとり親家庭6000世帯に対して一定の成果が出始めている状況である。しかしながら、近年の災害多発や人口減少などの外的変化が大きく、今後の更なる変化をふまえる必要があり、今後の「資源循環」のためとして、本事業を考案した。</p> <p>①災害多発への備え(特に災害時の対応ノウハウを提供し)として、平時・有事の垣根なく(デュアルモード)地域住民支援ができる拠点を、地域の行政・社協・企業など様々なセクターと連携するための支援②宅老所という介護保険制度前までは、全世代の交流拠点としての機能があった拠点について、現行制度に即した形での全世代交流拠点の機能への回帰をするための支援</p> <p>県内の子ども食堂・居場所がこの2つの支援を通じて、機能を拡充することで、今後の外的変化にもたえうる持続性ある組織になることを目指した事業である。</p>
選定理由	<ul style="list-style-type: none"> ・先駆性があり、全国のモデルになることが期待できる。 ・防災・多世代というキーワードで、多様な団体を巻き込む可能性がある。 ・本事業終了後の資金獲得について具体性があり、継続性が見込まれる。
助成額	<p>総額:30,679,200円</p> <p>内訳:事業費29,230,800円 評価関連費1,448,400円</p> <p>※実行団体よりご提出いただきました事業計画書・資金計画書に基づき記載しております。</p>

団体名	一般社団法人熊本県子ども食堂ネットワーク
事業名	子ども食堂と共にまちの未来図をつくる ～つながり広げる地域連携事業～
事業概要	<p>地域ごとにグループ化することでその地域の問題やニーズの掘り起こしがし易くなり、それにあったサポートを効率よく提供することができる。また、各地域にみんなの集まる居場所が増え子どもだけでなく高齢者や障害者、子育て世代などの孤立・孤独を軽減することができる。県や各市町村の情報共有・情報交換、また、ソーシャルワーカーや栄養士・保健師など専門家との連携体制を構築することで情報の共有・誰ひとり取り残しのないような支援を行うことができる。声を上げやすい組織となるために会員との交流会や研修会などで連携・交流を図る。ネットワーク組織基盤を強化し、現在の食材のシェアや寄付・ボランティアなどのマッチングを継続し、各食堂・関係各所の信頼関係を深めていく。</p> <p>事業の柱は以下の6つ。</p> <p>①情報連携体制づくり:当団体と熊本市・熊本県の担当課や企業との連携が生まれ、すでに実</p>

	<p>施されている政策との関連性や食堂の課題やニーズが定期的な情報交換の場で共有される仕組みが出来上がる。</p> <p>②地域グループづくり:会員子ども食堂を熊本県内の11地域に分けてそれぞれの地域グループのリーダーを通して各地域のニーズや課題が把握・整理でき、サポートが届けられる。</p> <p>③地域連携体制構築:熊本県内それぞれの地域グループのなかで子どもの見守りに関わっている自治会・民生員、社協、小中学校、PTA、他の居場所などのステークホルダーやスクールソーシャルワーカーや栄養士・保健師など専門家との連携会議が定期的開催される体制を構築する。</p> <p>④会員交流と研修:会員食堂同士の信頼感や安心感を育みながら、ノウハウを共有、「子ども食堂の価値や意味づけ」をしそれを発信しながら、食堂主催者が疲弊せずに継続運営ができる体制づくり</p> <p>⑤応援支援のマッチングフロー:企業・農家・個人からの提供された食材・物資・寄付などの支援が必要な食堂に届けられるシステムの継続・強化</p> <p>⑥組織基盤強化:当団体の事務局長の雇用ができ、規程類が整備され、組織基盤強化される</p>
選定理由	<ul style="list-style-type: none"> ・こども食堂のない市町村へのアプローチにステークホルダーの協力を得られている。 ・人材確保をしながら組織基盤を安定、拡大させることに期待がもてる。 ・これまでにつながりのある行政・地域経済団体等との関係性を活かして、新たなステークホルダーの開拓の可能性があり、本事業終了後の継続性が期待できる。
助成額	<p>総額:25,191,000円</p> <p>内訳:事業費24,021,000円 評価関連費1,170,000円</p> <p>※実行団体よりご提出いただきました事業計画書・資金計画書に基づき記載しております。</p>

団体名	認定NPO法人くびきのNPOサポートセンター
事業名	にいがたこどもの居場所Bloomプロジェクト ～育ちと広がり伸ばす県域ネットワーク構築～
事業概要	<p>新潟県全体が「こどもの居場所」をより身近に感じられ、子どもたちが安心して笑顔で過ごせる地域を目指し、「にいがたこどもの居場所Bloomプロジェクト」を実施する。</p> <p>地域の中では、「子ども食堂＝かわいそうな子どもや貧しい子どもがいくところ」というネガティブな意識や認識を持たれているケースがまだまだ多く残っている。こどもの居場所が多くの人に親しまれる花のような存在として、県内にたくさん育ち咲いていくような活動が展開できるよう願いをこめて、花が咲くという意味合いを持つ「Bloom」プロジェクトとした。</p> <p>県内で必要性が高まっている中間支援組織「にいがたこどものいばしょネットワーク(仮)」を設立し、こどもの居場所(子ども食堂、生活や育ちを支える団体)の組織運営力を高める団体の「育ち(↑縦の線)」を伸ばし、県内での地域や活動分野で生じる様々な差(人口規模に対する団体数や外部支援の提供数)を少なくし利用者や支援者を「広げる(→横の線)」を伸ばす事業を展開する。</p> <p>また、「こどものいばしょひろば(仮)」を、こどもの居場所を拠点に多様な人・物・資金をつなぐモデル事業として広げていきたい。</p>
選定理由	<ul style="list-style-type: none"> ・中間支援組織と研究会のコンソーシアムによる事業であり、研究会による学び合いの場による地域活動の促進が見込まれる。 ・地理的な課題を克服するための地域にあった施策が検討されている。 ・行政や企業等との連携も期待でき、全県ネットワークの構築が期待できる。
助成額	<p>総額:23,960,600円</p> <p>内訳:事業費22,955,600円 評価関連費1,005,000円</p> <p>※実行団体よりご提出いただきました事業計画書・資金計画書に基づき記載しております。</p>

団体名	特定非営利活動法人山口せわやきネットワーク
事業名	山口県こども食堂・子どもの居場所ネットワーク パワーアップ事業 ～こども食堂が地域のハブとなるための取組強化～
事業概要	山口県こども食堂・子どもの居場所ネットワークとして、県内のこども食堂が連携して、地域における持続可能な交流と支えあいの連携のシステムとして機能するため、県全域と各地域にある行政、団体、企業などの資源を共通の目標の下に結びつけて、地域のこども食堂に集まる子どもたちや住民が安心して利用し続けることができるこども食堂に子どもたちが歩いて行けるよう普及促進を図る。そのために、こども食堂の実力向上(運営力、感染防止、資金・ボランティア確保・

	育成など)、行政や団体、企業、住民に対する普及啓発と連携強化を図る取組を進め、地域ごとにその地域のこども食堂と一緒に真に住みやすい地域づくりを行う。
選定理由	<ul style="list-style-type: none"> ・人材確保、育成に力点がおかれており、これまでの活動を整理、発展させることに期待できる。 ・これまでに培われた組織・団体・人との関係性を加速させることにより、全県ネットワークの形成、活動促進が期待できる。
助成額	<p>総額:27,456,000円</p> <p>内訳:事業費26,706,000円 評価関連費750,000円</p> <p>※実行団体よりご提出いただきました事業計画書・資金計画書に基づき記載しております。</p>

団体名	特定非営利活動法人かごしまこども食堂支援センターたくして
事業名	「こども食堂の機能を地域とつなぐ「こども食堂地域連携サロン(こども食堂サロン)」設立推進事業 ～こども食堂の価値を運営者・地域・県民が等しく見つめるために～」
事業概要	子どもや親、地域住民の願いや実態を把握し、こども食堂が地域に果たせる価値や可能性を①こども食堂運営者②行政・社協・企業等③県民それぞれの視点に合わせて伝えることを通して、こども食堂が地域資源の一つとして広く認知され、地域社会に実装される体制を構築する。その目的達成のため、鹿児島県及び県内市町村担当者と協働し、鹿児島県内の地域振興局各エリア(7エリア)において、①地域連携コーディネーターの育成②地域連携サポートを目的としたこども食堂サロンの設立を推進していくものである。
選定理由	<ul style="list-style-type: none"> ・ステークホルダーと信頼関係を構築しながら、全県域へのこども食堂拡大を目指している。 ・これまでの活動で培った県・鹿児島市との良好な関係や支援者との関係性をもとに組織基盤の整備をしながら、現実的な視点で活動が計画されている。
助成額	<p>総額:25,215,150円</p> <p>内訳:事業費24,480,150円 評価関連費735,000円</p> <p>※実行団体よりご提出いただきました事業計画書・資金計画書に基づき記載しております。</p>